

—未来をひらく—

# 竜爪山 九条の会

りゅうそうざん  
きゅうじょうのかい

会報 2017年3月発行 通巻34号

発行／竜爪山九条の会・事務局

〒420-0812 静岡市葵区古庄3-19-34 五井卓方

TEL・FAX 054-264-4918

E-mail ryusouzan9@gmail.com

URL <http://ryusou9.jimdo.com>

## 竜爪山九条の会発会10周年のつどい開かれる

2006年、安倍第一次内閣が発足。その言動から憲法危うしと全国に九条の会が設立されました。その数なんと7,500以上。私たち竜爪山九条の会もその一つとして、2007年2月に産声を上げました。

あれから10年。一時は安倍首相退陣により、その危険性は遠のいたかに見えましたが、第二次安倍内閣の発足後、憲法改悪の危険性は今までに無いほど高くなっています。

そのような中、3月5日(日)竜爪山九条の会、発会10周年のつどいが、九条の会事務局長で、東京大学大学院教授の小森陽一先生を講師にお招きして開催されました。

講演の前に、活動報告と10年の歩みが紹介されました。そして、世話人の望月さんによる民謡も披露されました。『十九の春』の替え歌による、朗々とした平和讃歌でした。



↑西奈生涯学習センター2階ホールでの記念講演  
タイトルは書家の小林さんに書いていただきました。

### 竜爪山九条の会 10年の歩み

2007年2月12日、小和田哲男先生に講演をお願いして、正式に「竜爪山九条の会」ができて、今年で10周年を迎えました。2001年9月11日に、アメリカの同時多発テロが発生し、これをきっかけに、アメリカは

「テロとの戦い」と称して、2003年からイラクを攻撃。2004年には、自衛隊もイラクに派遣され、日本国憲法第九条が、なし崩し的に壊されていく、そんな危機感から、2004年6月10日、大江健三郎氏はじめ9人が「九条の会」アピールを発表しました。

このアピールをきっかけに、全国各地に「九条の会」をつくる動きが起こり、葵区東部地域でも、2006年になって、有志が集まって、地元の名士や、お寺の住職さんなどにも働きかけ、9月3日、「呼びかけ人会」が開かれ、それ以後、事務局会議、世話人会が相次いで開かれ、会報も発行されるようになりました。

この間、小泉内閣は安倍内閣に引き継がれ、「憲法が危ない」という危機感が、いっそう高まり、「国民投票法」成立によって、「改憲」が現実のものになりました。1年で崩壊した安倍内閣が、2012年の暮れに再登場すると、「特定秘密保護法制定」「96条改正案」「集団的自衛権行使容認閣議決定」「平和安全関連法制定」と、つぎつぎに、「日本国憲法」を壊していく政策が進められ、こうした動きに、竜爪山九条の会のメンバーも危機感を強め、活動も活発になっていきました。2014年には、「集団的自衛権の行使は日本を再び戦争する国にすることです」というチラシを2万枚作り、地域へ全戸配布。憲法カフェも開催。2015年には積極的に街頭に出るようになり、109前や地元のエスポット前などで、宣伝・署名活動。さまざまな集会に参加していきました。昨年は、9周年のつどいに、「歌う僧侶、鈴木君代さん」を招いて、ライブ&トーク、真勝寺本堂いっぱい250名参加。「安保法制廃止を求める2000万署名」に取り組み、6月には「選挙に行こう！」チラシを、およそ19,000枚、自力でポスティング。学習会も3回開催。11月には、「いいじゃん！今の憲法」のポスター、およそ200枚を地域に貼り出し。そして、今年、10周年のつどいを迎えることができました。

事務局会議は60回を超え、会報も33号発行。ホームページは頻繁に更新され、全国的にも注目されています。

## 小森陽一先生講演録『いいじゃん今の憲法』

90分の講演をおよそ四分の一にまとめたものです。

今日3月5日は、任期中に憲法を変えようと言っている安倍総理が、党則を変えて3期に延長を決定した、緊迫した日にこの集会が開かれています。世界はというと、側近やロシアの情報操作の結果か、直接民主主義的に米大統領選挙が行われ、とんでもない人が大統領になってしまった。日本のPKOが戦闘という文字を防衛省がもみ消すという状況の中で総理が明文改憲の野望を実現しようとしている、まさに2017年は私たちの運動は歴史的な意味を持っているという風に思います。

### 「九条の会」誕生

九条の会を作った時は、教科書から従軍慰安婦問題を削除しろと日本会議等が主張している際、「新しい歴史教科書を作る会」の教科書が検定を通り、それはおかしいと井上ひさしさん、小田実さん、大江健三郎さん、梅原猛さん、加藤周一さん、澤地久枝さん、奥平康弘さん、鶴見俊輔さん、三木睦子さんら9人が行動を共にしたのがきっかけです。

## 夏目漱石について

私は漱石の専門家と言われていますが、今年は漱石生誕150年、憲法施行70年、憲法9条のもとで、自衛隊が南スーダンで武器を使うか瀬戸際にある、歴史的局面なわけです。漱石は『点頭録』というエッセイの中で、過激に4回続けて軍国主義という題名で文章を書いている。

ドイツのおおもとがプロイセンで、1867年（漱石が生まれた年）に強制徴兵制が始まり、あの個人の自由を大切にしているイギリスにも波及。プロイセンが普仏戦争に勝利し、まだ岩倉使節団がヨーロッパにいる時、日本は武士階級をリストラし、1872年徴兵制の国になる。ビスマルクをバックアップしたトライチケ、ドイツの軍国主義思想をとことん振りまいた人だが、漱石は4回とりあげている。軍国主義思想を振りまくとどうなるか。今の森友学園の教育勅語の奉読、あれは反面教師として重要ですね。

あれだけ検閲の厳しい時代に、小説『門』の中で、伝えたい情報を新聞記事をうまく誘導して検閲をすり抜けた超高度な技。

しかし、漱石は存命中、戊辰戦争、西南戦争、日清戦争、日露戦争、第一次世界大戦と五つの戦争に囲まれているのです。

## 天皇と憲法について

1946年11月3日に公布された憲法は、主語が朕。日本国憲法は帝国議会で議論した大日本帝国憲法の改訂版。憲法制定権限を持っている唯一人の昭和天皇裕仁の独り言なんです。それから半年かけて、無血革命が進行し、確定したのが、主語が日本国民。1947年5月3日が施行の日になるわけです。真珠湾攻撃を仕掛けて、第二次世界大戦に突入した総責任者が「戦争しない。国の交戦権も持たない。軍隊も持たない。」と宣言したから、国際的な約束の意味を持つんですよ。5月3日は東京裁判が開廷した日。昭和天皇の戦争責任は一切免責し全部あのA級戦犯に押し付け、岸信介ら有能なA級戦犯容疑者は釈放して、アメリカの言いなりに使うという判断なんです。

## 野党共闘への道

60年安保闘争は政党としては日本社会党、日本共産党に総評が間に入り、総評傘下の130余の団体が安保反対国民会議を作って、運動を始めた。6月に毎日30万人が集まってジグザクデモ。私は小1でしたが、2度デモに出ました。小学生の安保ごっこデモ、ありましたねえ。

1960年頃は多くの人が戦争体験を持っていた。二度とあの戦争を繰り返してはいけない。9条があるから自衛隊を持つてはいけない。米軍基地があるのもおかしい。そういう大きな声だったわけですが、強行採決、その後自然成立。一緒に闘った社会党と共産党は国政レベルでは路線の問題で協調できなかったが、地方自治体レベルで革新自治体は作れたが、この体制が分断されてゆく。その後、社会党の石橋委員長が自衛隊は憲法違反だが合法だという発言で、共産党が社会党とは共にやれないという風になり、総評も連合となり、日本の労働運動は分裂してゆく。その後、26年間の分裂を統一したのが2015年、「戦争させ

ない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」という文学的センスのひとつかけらもない題名、この長い名前の組織が2000万人の署名を呼びかけました。

三つの名前の組織が一生懸命話し合っ一つになりました。「1000人委員会」は日教組、自治労、平和フォーラムが一緒になり2014年にできた。九条の会の大江さん、澤地さん、私も入っています。政党としては民主党系なんです。「9条壊すな！実行委員会」、これは集団的自衛権の行使容認に反対する首都圏の市民グループ。「憲法共同センター」は新日本婦人の会とか民商とか、世の中の的かというと日本共産党系の集まり。この三つの組織がまとまるまで大変だったらしい。現場にいましたから、本当に大変だったんですけど。

その大変だった組織が2015年5月3日の憲法集会から統一行動を始めたんですね。過去の運動が分裂したのはどこかが主導権をとろうとしたから、それは絶対にしないと。シーلزの若者が“野党は共闘”と呼びかけて渋谷をジャックしました。若者たちに言われたら、かたくなな野党の党首も手をつながざるを得なかった。7月に衆院で強行採決された時、今まであったさまざまな歴史的経緯を乗り越え、手をつないだわけですね。岡田代表と志位委員長が手をつなぐなんて、すごい事なんですよ。その場で、志位さんは連合政府を作ろうと機関決定も経ずに決断しちゃうんですね。参院選が迫っている、統一候補を立てなければいけない。国会前で運動していた5つの市民運動体が野党の代表に、「あなた方は私たち市民の願いをちゃんと背負って共闘しなさい」と。これは日本の政治史上画期的な事だったんですね。

参院選で全ての1人区で統一候補を立て、11の選挙区で勝利した。自民党が強いと言われていた東北で、野党共闘候補が圧勝していく。新潟の知事選、候補者の米山さん、民進党員でしたが、電力労連は応援しないと、でも市民の願いを実現するなら無所属で出ようと。今後どれだけ多くの野党共闘候補を出していけるかが、改憲を許さないこの国のあり方を決める重要な事になる。

## 大戦と石油利権は？

なぜ、1917年アメリカが第一次世界大戦に参戦したのか。それは主要な争いが中東の石油をめぐる利権だったから。まさにアラビアのロレンスの世界。産業構造が石炭から石油に転換した、ヨーロッパの領土の問題など関係ない。東部戦線からロシア軍が引いて、同じ年にロシア革命が起きる。アメリカ参戦100年とロシア革命100年。ガソリン機関になったから飛行機が武器の中心。戦闘員と非戦闘員の区別がつかず、無差別空爆になっていく。ゲルニカ※であり、重慶※であり、広島長崎なわけですよ。第二次世界大戦後、アメリカとイギリスの承認だけで、中東の産油国の真ただ中にイスラエルをつくっちゃう。集団的自衛権の行使という言葉が出てくるが、アメリカとイスラエル、イギリスとイスラエルの軍事同盟が始まり、ソ連と西側の対立は実は石油利権をめぐる問題。

今、アメリカはアメリカファースト、自国の事しかオラ知らんぞという大きく世界の局面が変わっている中、憲法9条が軍事力に頼らない安全保障のあり方を、どう本当の意味で実現してゆくのか。

※ゲルニカ 1937年4月26日、ドイツ空軍がスペインのゲルニカに行った都市無差別爆撃。

※重慶 1938年2月～1943年8月にかけて、日本軍が断続的に218回行った中国・重慶に対する戦略爆撃。

## P K O の経緯

なぜ、宮澤喜一政権の時にPKO協力法が通ったのか。1990年にイラクがクウェートに侵攻し、この時すでにゴルバチョフのペレストロイカが進行し、ベルリンの壁が崩れて東西冷戦は終わり、世界は一つという流れだった。その結果、安全保障理事会で拒否権行使がなくなり、イラクに軍事行動を伴う経済制裁をする。その多国籍軍に自衛隊を出すという案が出ていた。その時の海部俊樹政権の幹事長が小沢一郎氏で、小沢憲法調査会というのを作って、安全保障理事会の決議があれば世界中のどこでも自衛隊を送っても構わないという解釈改憲をやろうとしたけど、宮澤喜一、河野洋平をはじめとする自民党ハト派が反対してならなかった。で、宮澤喜一政権になって、PKOは出しましょう、武器を持たずに。キーワードは非戦闘地域。小泉政権の時に総理が「自衛隊の行く所が非戦闘地域なんです」と言っちゃった。自衛隊の行く所は非戦闘地域にしくちゃいけない。

イラクではアメリカがやると言えば、協力しなくちゃいけない。みんな行きたくない。部下を殺したくない。自分たちの関係のないアメリカの世界戦争の手先にされるのはごめんだ。こういう中で日本の憲法9条の重要性に目を開かれていくわけですね。日本は9条を持っているが故に、世界的に先進的な紛争解決の方法を具体的に提供できる。こうしてさまざまな武装勢力の武装解除に成功している。9条を持っている日本だから信頼してくる。それをアメリカの言いなりになってトランプ詣でをしている安倍政権の危険性、日本を一体どこに方向づけしようとしているのか。

## 北朝鮮の問題の位置づけ

今、多くの方が北朝鮮が攻めてきたらどうするのかという事が言われていますが、北朝鮮がこれだけ緊迫してしまう条件を作ってしまったのが、第一次安倍政権だったんだと。なぜ、あれだけのミサイルを撃ったりしているのか。その理由は何か。これは日本の中では明確になっていない。一言で言いますと、朝鮮戦争は終わっていない。1950年6月、北が38度線を越えて、大韓民国に攻め入って始まったとされている朝鮮戦争は、1953年7月に休戦協定を結んだまま現在に至っている。お休みしているだけ。

ブッシュ大統領がアフガニスタンとイラクで泥沼になってしまった。このままだと史上最悪の大統領になってしまうという最終段階で、せめて一つだけいい事をやろうと。朝鮮戦争を終わらせよう。朝鮮戦争に関わった北朝鮮、中国、ソ連、韓国、アメリカ、日本で朝鮮戦争の講和条約を結ぶ為の条件をめぐって協議しましょうというのが六ヶ国協議。

小泉政権が訪朝する段階、日朝国交回復を結ぶという方向性だったが、その前にその中心になっていたのが田辺社会党委員長と金丸信自民党副総裁だった。でも金丸信や細川護熙も佐川急便事件で切られた。何がうごめいていたのか？1992年代に……。あっ、微妙な沈黙……。(笑い)

小泉政権の時に、拉致家族問題が明らかになり、それをあおって日本会議などが、北朝鮮はひどい国だという風で大宣伝したわけですね。つまり安倍政権は拉致家族問題をあおって、北朝鮮に対する反発をあおって、政権の浮揚策とする。日本の右派勢力をかきたてていく。六ヶ国協議には協力しないという態度をとってこじれてしまった。

## PKOと北朝鮮をめぐるの政局

初めてPKOで海外に自衛隊が派遣されたのが92年、時の宮澤喜一政権に対し野党が不信任案提出。小沢グループ、鳩山グループが9条があるから国際貢献できないんだ、9条をなくして国際貢献できる日本にしようとするスローガンにかかげ、大改憲選挙を1993年にやった。小沢一郎の政界再編で7党1会派、細川護熙政権ができ、初めて自民党が野党に転落。その数日前に、宮澤内閣の河野洋平官房長官が、慰安婦問題に日本軍が関わっていたという官房長官談話を出し、教科書に載っちゃったわけですね。

91年にソ連がなくなる。ソ連の脅威に対してアメリカの核の傘で守ってもらってるから、こうなれば日米安保条約はいらなくなる。宮澤喜一政権はその可能性を探ったわけですが、アメリカはそれでは困る。クリントン政権は新しい敵を作る必要があり、93年に北朝鮮の核開発疑惑をグワーッと押し上げた。

細川政権が突然終わったでしょ、どうしてでしょう。改憲の為の小選挙区導入の後、深夜に記者会見をやり、国民福祉税導入を言った直後にやめている。その理由はアメリカが北朝鮮問題をあおり、第二次朝鮮戦争勃発かという事態に、朝鮮労働党の友党の社会党が政権にいる。そこで小沢一郎を使って細川政権をつぶし、羽田孜政権ができ、その直後にジミー・カーターがキム・イルソン（金日成）と米朝枠組み合意を作り、独自の核開発はしませんと。これで北朝鮮危機は去り、二か月後に村山富市政権が誕生。そしたら、その2週間後にキム・イルソンさんが死亡し、世襲でキム・ジョンイル（金正日）が継いだ。クリントン大統領が世襲で継がせるのかと言って、また北朝鮮危機が高まって、それで国会で村山首相が日米安保条約堅持、自衛隊は合憲と言って、日本社会党が潰される。北朝鮮問題はその時からそういう風に使われてきた。

そのこのところを9条を持っている日本が中心になって、朝鮮戦争を終わらせる、そういう枠組み合意を六ヶ国で作ったら。北朝鮮があるから安保条約結んでいるわけでしょ。当事者の六ヶ国がアジアの安全保障どうしましょうと話合って、国際条約結べば、まさに集団的な安全保障体制になるわけでしょ。その中で、アメリカ、ロシア、中国に、いつなんどきまで核兵器をなくすんですか？この条約に盛り込みなさい、それが9条を持っている国のやるべき外交じゃないですか。

## 草の根の市民運動を

2004年、九条の会を作った時、改憲政党が複数になっていて、読売新聞は1000万読者に、9条があるから国際貢献できないんだとキャンペーンをはった。だから2004年の世論調査で、改憲すべし65%、変えない方がよい22%。しかし、草の根の運動を通し、2008年、年越し派遣村を打ち抜いた時、初めて三つに分裂していた労働組合が一つになった。そしてこの年、15年振りに変えない方がよいが多数派になった。その後、民主党による政権交代があったが国民の期待を裏切り、3・11があり、政治改革への希望が奪われちゃった。有権者が選挙に行かない国になり、第二次安倍政権が出てくるのもそういう事なんだ。

この状況を転換するためには、2016年憲法を変えない方がよいがはっきりと多数派になった。私たちが運動を通じて作り出してきているわけですね。本当に9条を使いこなせる政権ができれば、これだけ混乱している世界で、はっきりと展望の光を指し示すというのが

憲法9条の路線なんだ。当面は野党共闘を小選挙区で勝ち抜く。その野党共闘を実現するための市民運動の力を、九条の会が中心になって、地域で作り出してゆく、その為に全力を出してゆきましょう。

## 講演 質疑応答

参加者と小森先生のやりとりをほぼ忠実に再現しました。

質問者

九条で世界をなんとか変えていこうと。九条を世界遺産に。また九条世界会議を早いうちに、是非開いてほしいなと思っています。

小森先生

事務局でしっかりと議論させていただきたいと思います。2004年にアピールを出した呼びかけ人が、ご存命なのは、梅原さんと大江さんと澤地さんのお三方になったので、9月25日の全国交流討論集会で、世話人体制というのを作ったんですね。今度、世話人の会議を3月の末日、31日に行って、今後の九条の会の活動をどういう風に展開していくのかってことを議論したいと思いますので、その時に、九条世界会議の可能性についても話し合いたいと思います。はい、ちゃんとお約束いたします。

質問者

今、梅原猛さんのお名前が出ていますよね。「安倍さんが大好き」というのを、いろんなところで読むのですが、なんでこの三人の方たちの話し合いになるのか、すごい気になるんですね。

小森先生

はい。九条の会の呼び掛け人に梅原猛さんが入っているというのは、とても重要なんですね。あのう、中曽根康弘ともとても仲がいい。中曽根康弘に抜擢されて、国際文化研究センターの所長になった人なんです。でもそれだけ、保守層に支持を持っているが故に、梅原さんのような人が「九条の会」の呼びかけ人になるということで、保守も取り込んだという事を目指してきた。だから、大っ嫌いという人もありますが、野中広務のような人までも、「九条の会」と一緒にやるしかない、という風にしてきている。だから、やっぱり保守層をしっかりと、「九条の会」というのは主義主張を問うというのではなくて、「九条」を大事にするという一点で、自民党支持の人たちも一緒にやっ払い。ですから、その広がりには長い運動を通して、東北でも「九条の会」、青森なんか、私毎年のように出かけてゆくわけですから。それで、10年以上やって、ようやくああなるわけですから。そうすると、運動を積み重ねていくことによって、地域そのものを変えていく時に、やっぱり、自民党支持の人もいっしょにいて。そこの大事な役割を梅原さんはいただいているわけです。

質問者 長生きしてもらわなければ。

小森先生 そうですね。もう90を過ぎているので。でもお元気です。

## 質問者

街頭で署名をやっていると、先生が今言われたみたいに、「北朝鮮が攻めてくる。中国が攻めてくる」と。中国が尖閣諸島を占領しちゃうとか、戦争に中国が参戦するということですね。だから、今の憲法を変えなくちゃならない、そういう人に会うんですよ。最近ものすごくそれが多くなったんです。そういうことを、アメリカが守ってくれるってことは、絶対ないんだと、自衛隊をもっと増強したらいいんじゃないかと、どうですか？

## 小森先生

おっしゃる通りです。日米安保条約を結んだからどうのこうの、一度たりともアメリカは日本を守ってくれた事はありません。今、辺野古で作っている新基地も、あれは日本を守るための基地ではなくて、アメリカの海兵隊と一緒に軍隊になった日本の自衛隊が、世界に出撃してゆくための出撃基地ですね。まさに、日本の自衛隊がアメリカのいいように使われるというのが問題の根本であります。それから、尖閣問題に関しては、今度学習指導要綱で「学校でちゃんと教えろ」ということになっていますけれども、あの問題を持ち出したのは、ほかでもない石原慎太郎なんだ、ということをお忘れなく、と言ってやってください。つまり、2012年の野田佳彦政権の時に、石原慎太郎が「国が買わなかったら、東京都が金出して、あそこ買う」という挑発をしたんですよ。なんで2012年なのかっていうことになるんですよ。2012年というのは、日中国交回復40周年で、沖縄返還40周年の年なんです。これが一緒だっということが尖閣問題の要です。日本の頭を超えてニクソン政権は米中首脳会談をやる、1ドル360円体制もぶっ壊すと言って、1971年に言うんですけど。これに腹を立てて、田中角栄が一気に日中国交回復をやるわけでしょ。田中角栄の前が佐藤栄作でしょ。佐藤栄作政権の最後の段階の5月15日に沖縄が返還される。それまでは沖縄は、つまり尖閣はアメリカの施政下だった。ここをめぐって日中がこの問題の議論をできないはずがないでしょ。だから問題にしないでおきましょう、ということで一気に米中首脳会談を突破して、日中国交回復をその年の内にやるわけですよ。だから、その時に、日中国交回復に反対して晴嵐会というのを作ったのが、石原慎太郎ですね。ですから、あれはやっぱりアメリカが基地の島として沖縄が支配されてきたことをベースにしながらも、日中国交外交を優先するという政治家の知恵なんですよ。それをやった田中角栄は、ロッキード事件で潰されるわけでしょ。アメリカからわざわざ暴露してやった。だから、自主外交をやると角栄になるぞと突きつけられて、そのあたりは金丸信に及び、小沢一郎までいってるわけじゃないですか。その根深さの問題をゆっくり落ち着いて話しましょう。その、声を荒げて「尖閣問題はどうなるんだ」という人には、「ちょっと待って下さい」って話し合うと、「そうか」という話にもなりますので。ま、街頭ではちょっと難しいですけどもね。(笑い) ゆっくりと話し合う機会を作ってください。



講演中の小森先生

間もなく、かもがわ出版より、『13歳からの夏目漱石』が出版されます。  
1.600+税



## アンケート結果と講演の感想

- アンケート回収44名（講演の参加者120名 回収率36%）
- この集会について：知人、チラシで知った方が多かった。
- 性別：女性27名、男性12名
- 年齢：60代19名、70代17名
- 憲法九条について：守りたい34名

静岡県弁護士会が →  
作成したなぞかけ  
クリアファイル



\*講演について、とてもよかったという感想がほとんどでした。紹介します。

- 政治家の動きを単なる利権だけでなく、日本を動かしていく恐ろしい考えがひそんでいる事に、改めて考えさせられた。以後、広い視野で政治の動きを見てゆきたい。  
(70代女性)
- 歴史的な事実は前後関係と、なぜその時に起きたのかの必然性が大事という捉え方は、文学者らしい具体性を持った捉え方で、とても物事をわかりやすくしています。謎解きのような面白さを一方で感じつつ、9条のもつ可能性について目を開かされました。(50代女性)
- 今日の講演は本当に良かった！現状と歴史的な事実、いろいろ思い出しながらよく理解できました。これからは「9条の意味と9条を活かすこと」に力を注ぎたい。守ることと同時に！国連でも他国のジャーナリズムからも注目されている日本の“9条”です。(50代女性)
- 長い歴史を短時間にまとめて下さり、将来の展望を話して下さい、素晴らしい講演でした。ただ、1990年代の政治の変化は、なかなかついていけません。新聞なども裏側を報じていなかったし、テープがあればもう一度聞き直したいです。先生、お忙しいのに足を運んで下さりありがとうございました。(70代女性)
- 軍事力に頼らないことが重要である。今何が肝心なのか、小泉政権が言った「自衛隊の行くところは戦闘地域ではない！」という事を国民が言わしめたことは重要である。逆に今は戦闘があったのに、ないということと言い逃れをした稲田防衛大臣である。それは日本に9条が存在しているからだ！！北朝鮮の危機が生じているのはアベの責任である。「朝鮮戦争が終わっていない。」からだ。休戦中！！6ヶ国交渉をダメにしたのがアベだからだ。(70代男性)
- これまでの歴史的な流れの中で、わかっていなかった事がいっぱいあるんだという事がわかった。でもあまりにもたくさんで一気に自分の脳内におさめきれません。(一つひとつはさすがにわかりやすく、そうなんだ！と思えるのに明日は消えそう)でも日本の役割はしっかりつかみ直します。(60代女性)
- とても聞きごたえのある講演でした。歴史が継続してつながっている事を改めて考えさせられた。9条を世界遺産にするのではなく世界憲法になればいい。在日朝鮮人として地域での今日の講演は心強かった。一つずつの事柄が全てつながっている。

うれしい。(60代女性)

- 憲法9条の意味の深さがよく解った。日本の政治の本質、政権の流れについてうなずけた。学習しなければと思う。9条がなければ市民+野党共闘はなかった。と本当に思う。政党任せにせず、市民の力が必要と思った。(60代男性)
- 世界情勢が今、刻々と変化している状況で、気持ちが少しずつ9条を守りつつ大事にしなから、解釈に於いて若干手直しが必要なのではないか・・・等々、思いめぐらしていたのですが、今日話を聞き、朝鮮戦争はまだ終了していない！新たに、やはりこの憲法9条は守っていかなくてはいけないと感じました。(60代女性)
- 小森先生へ。時代背景を解りやすく御話してくださいました。我々の小さな力が大きなものになっていく様に、頑張っって活動していく事を改めて感じました。今後とも御教示願います。ありがとうございました。(60代男性)
- 改めて本当に覚醒しました。説得でなく“討論”すること。何ができるか？何をしているか？問われていると思います。国民(市民)ファースト！！(60代男性)
- ありがとうございます。小森先生の元気な講演、しかも真相を解明していただき、もう一度勉強し直さなければなりません。(70代男性)
- 憲法9条が武力なしで世界を平和に導いていく大変偉大なものであることを改めて感じた解りやすい講演でした。まわりに敵をつくり、あえて危機感を駆り立て軍事費を増大させることは絶対やめなければいけないと感じました。(60代女性)
- 清水9条の会ですが、この9条の力を出さなければならない時期に、今、世の中はどうなっているのか。アベ強ではどうしようもない。しかし、内閣支持率は60%以上とは一体どうなっているのかと猜疑心の塊となっている状況を救ってくれたのがこの講演「竜爪山九条の会10周年のつどい」でした。ありがとうございました。  
(70代男性)
- 九条をいかす事、6ヶ国協議大切。日本のもっている九条がもの言える時と思うことがよくわかりました。(60代女性)
- 九条を守っていくことだけに汲々とするのではなく、今の憲法を活かすことを考えていけたらプラスになると思います。世話人の方、ご苦労様でした。(70代女性)
- 新しいものの見方について知ることができた。(80代男性)
- 九条の会を作った先生らしく、熱のこもった話でとてもよかったです。又、このような機会(先生・講師)をつくってください。(60代女性)
- 自分の中でいつももやもやしていた北朝鮮のことが、はっきりわからせていただきました。小森先生を呼んでいただきありがとうございました。(60代女性)
- 安保ごっここの世代です。1960年6月東京、国会前にいました。但し小6修学旅行のバスの中、十重二十重のデモ隊の渦で近づけず、上野動物園に予定変更されました。70年安保は学生でした。歴史のおさらいをしながら「今の憲法やっぱりいいじゃん」を再確認しました。  
(60代男性)
- とても分かりやすく良かったです。(70代女性)



- 時間がないところで素晴らしい講演を聞くことができ、いかに勉強が足りないかわかりました。日本だけでなく世界的にいっぱいある色々な戦争的問題を解決していくには大変なことだと思います。(70代女性)
- 歴史的には、現在起きていることには必ず原因があることを改めて知りました。よい勉強になりました。ありがとうございました。(70年代女性)
- 具体的な事例のもと、話してくださったので理解できました。良い講演でした。  
(60代女性)
- 基にもどって考える。背景を知る。とても勉強になりました。ありがとうございました。(60代女性)
- とても解り易く元気になりました。歴史の勉強をさせていただき、今日は前途が明るくなった感じです。(70代女性)
- 小森先生のお話、大変よかったです。お忙しい中ありがとうございました。(70代女性)
- 具体的な問題と今迄の歴史がわかり大変よかった。自民党、アベを倒すまで頑張りたい。(70代女性)
- わかりやすく、夏目漱石の『門』をもう一度読んでみたい。(60代女性)
- 政局のお話とてもおもしろく聞かせてもらいました。(60代男性)
- 3月30日～4月1日に静岡市民劇場例会「化粧」が行われますが、井上ひさしさんの作品です。引き続き見続ける勇気をもらいました。(60代男性)
- 多忙な先生のお話、しっかり身につけたいと思います。(80代女性)
- 小森先生のお話は、戦後史の時間の流れと政治の節目節目をきちんと整理されていて、それが今につながっていることの意味を教えていただいた。聞いている方々が目の色を変えて聞いていたと思います。まさに今の政治情勢が野党共闘+市民の闘いであり、その市民の一つは「九条の会」の闘いであることを強調されておられました。1950～1953年の朝鮮戦争は南北の停戦ラインで対峙しているだけだという示唆は、今日の北朝鮮をみると生々しく見ることができます。東北アジアの平和共存のために「竜爪山九条の会」をますます発展させましょう。(70代男性)



\* 竜爪山九条の会への要望、苦言などありましたらお寄せください。

- ★ ぜひ、様々な可能性を追求して、若い層へも切り込んでほしいです。自分もできることをやりたいです。(50代女性)
- ★ ご挨拶でもありましたが、近年の「九条の会」も種々事情もあり、活発なところ、衰退の態を見せているところもあります。各々、今が大事との認識は共通ですので、活発なこの会の催し物を、これまで通り広く他の「九条の会」にも呼び掛けていただき、一緒に聴かせてください。他の会もこの会をモデルに再度動かしていけたら～。私自身は清水でまわりの「九条の会」とがんばっています。又、興味ある催し

# 意見広告掲載にご協力を願います。

## 憲法九条を守り抜く

5月3日、読売新聞朝刊に一面を使った意見広告を出します。  
詳しくは、会報に折り込まれたチラシをご覧ください。

掲載料 一口  
500円

- 物に参加させていただきます。(70代女性)
- ☆ 改憲、創憲、加憲、全て「キケン」の仲間。小森先生が強調された市民の力、野党共闘の力で何としても危険な流れをストップさせよう。治安維持法(共謀罪)もしかり、これも憲法を守る力でつぶしましょう。(60代男性)
  - ☆ よい会に出席できてよかったです。又、これからも勉強していきたいです。(70代女性)
  - ☆ 安倍の目指すものがファシズム、軍国日本であることをもっとわかりやすくアピールできたらと思います。(70代女性)
  - ☆ 地域での参加は初めてです(憲法に関する講演)。地域に9条の会の在る意見を理解する機会になった。(60代女性)
  - ☆ これからも九条の会のつどいは出席したいです。(70代女性)
  - ☆ 学習会へ積極的に出なければ取り残される!(70代女性)
  - ☆ 大変勉強になりました。ますます9条の重みを感じました。竜爪山九条の会の大切さ、ますます感じました。(70代女性)
  - ☆ このような機会をまた設けていただきたく思います。(60代男性)
  - ☆ ①竜爪山九条の会の立派な活動に感心するとともに、それを支えているのは素晴らしい活動家と資本力があると思います。その資本力を一部の人に大変な負担をかけているのではないかと危惧しています。②若い人がどのくらいの割合なのか知りたい。③本日の(総会・講演会)出席者の中で、瀬名地区の割合を知りたい。(70代男性)
  - ☆ 次回は小森氏も言外に言われました、全国九条の会の世話人になられた国際ジャーナリスト伊藤千尋氏を講師にお願いします。谷口真由美さん(大阪のおばちゃん)もいいです。(70代女性)
  - ☆ これからも頑張ってください。若い人を取り込む方法は・・・?(60代男性)

編集後記

小森先生の講演は、「目から鱗」がいっぱい。憲法公布の日(昭和20年11月3日)ただ一人、憲法制定権限を持つ天皇が「戦争しない、国の交戦権も認めない、軍隊も持たない」という風に世界に宣言したから、国際的な約束の意味を持つ。5月3日は東京裁判が開廷した日であり、事後に憲法記念日。今上天皇の誕生日12月23日は、A級戦犯が絞首刑になった日。明仁天皇さんは自分が1才年をとる度に、自分の父親裕仁を救うためにあの7人が絞首刑になつたんだという事を思い出させられ続けている。朝鮮戦争は終わっていない。休戦中。等々。小森先生の90分のお話、全講演録を予定しています。そして、「意見広告」今年もやります。皆様のご協力、よろしく願います。